

会長に久井田直之理事が選出されました。ご挨拶を掲載します。

会長就任のご挨拶 日本経済教育学会会長 久井田直之（日本大学）



2015年に会計担当として理事に就任してから9年が経ち、まさかニューズレターで会長としてご挨拶をすることになるとは思いもよりませんでした。富山大学から事務局を引き継いだ時に、あと〇年

で会費収入では学会運営ができない事態に陥ると伝えられました。会計の経験がない私が、どのような経費削減ができるか自信はありませんでしたが、学会サービスの質を下げずに、会費も上げずに、まずは支出の中で削れるところを削ることを徹底して行いました。その後数年分の持ち直しができ、COVID-19の感染拡大を受けて、対面での全国大会や春季研究集会の実施ができなくなり、結果的にオンライン化によって予期せぬ経費削減ができました。そして対面での全国大会や春季研究集会の実施ができるようになった現在、また数年後の学会運営の危機が生じる可能性に目を向けなければいけない状況になりました。元会計担当として、1年の任期の会長を務めるうえで、今後の学会改革の基盤を築くことが私の責務であると考えています。

会計担当時から多くの先生方にご加入いただける学会にするために、会員の方にとってコストのよい学会にしようとする限りのサービスを行えるように対応してきました。しかし、本学会以外の学会でも直面している会員数の減少の問題、特に会員の定年退職後の退会の問題に対する解決策を本学会は残念ながら現在も見つけることができていません。65歳以上の会員の会費を半額にする取り組みも、不景気や物価高

騰などの影響を受けて退会の歯止めになっているとは言えないのが現状です。学会の運営に関わるコストの多くは学会誌の刊行に関わります。私は編集委員としても長年関わってきました。会計担当時から編集委員としてコストの削減を試みてきましたが、これまで以上のコスト削減が難しいことを身に染みて感じています。査読を担当してくださる先生方と編集委員の先生方はかなりの時間を割いて、学会誌の質を高めるために取り組んでくださっています。学会誌発刊に関しても、印刷費や資材の高騰の中で、印刷会社の閏月社も学会誌編集を支えてくれています。全国大会や春季研究集会も、運営の先生方は費用を抑えるように努めてくださっています。学会業務のほとんどでコストの削減を行って今に至っています。

学会の活性化と学会活動の効果的な発信が、今後学会として生き残っていくには必要不可欠です。そのためにできることをどんどん進めていく覚悟でこの会長職一年間を全うしようと思っています。現状でまだできるコストの削減の1つの案として、まずは試験的に年二回発刊のニューズレターを1回に変更し、PDFによるオンライン上での配信に試験的に取り組みます。本号がそのテストの号になります。ニューズレターのPDF化に関して会員の皆様からのご意見を伺うアンケート調査を行いますので、ぜひご協力をよろしくお願い申し上げます。

会員数を増やすことを目指しながらも、会費の値上げを本格的に検討したいと考えています。創設100周年を目指して、今後の日本経済教育学会の学会活動の活性化にご協力いただければ幸いです。よろしく願いいたします。

## 第40回経済教育学会全国大会報告

2024年9月28日（土）から9月29日（日）にかけて、日本大学経済学部7号館にて、第40回経済教育学会全国大会が開催されました。今年の大会は、1985年に創設された本学会が2025年に40周年を迎えるにあたり、40回目の節目を迎えた特別な大会となりました。テーマは「経済教育の現状の課題と未来」とし、過去の経験を踏まえつつ、未来に向けた新たなチャレンジを模索する場となりました。国内外から多くの参加者が集まり、2日間にわたり活発な議論が展開されました。

1日目は、日本大学経済学部の手塚広一郎教授の開会挨拶に続いて、韓国外国語大学の韓暲東教授からもご挨拶をいただきました。続いて、学会の総会が1時間にわたって行われ、会員たちは学会の活動報告や今後の方針について真剣な討議を行いました。

シンポジウム「経済教育の現状の課題と未来」では、国際的な視点を取り入れた内容が展開されました。最初に登壇したAEEE（Association for European Economics Education）会長のBrent Kigner氏は、Zoomを通じて参加し、欧州の経済教育の現状とその課題について話し合いました。続いて、前KEEA（Korean Economics Education Association）会長である金景模氏（慶尚国立大学）は、韓国における経済教育の取り組みを紹介し、国際的な経済教育のトレンドに対する鋭い洞察を披露しました。さらに、前JSEE（Japan Society for Economic Education）会長の水野勝之氏（明治大学）が日本における経済教育の発展と課題について詳細に説明し、各国の取り組みを比較することで得られる示唆を共有しました。その後、質疑応答とディスカッションが行われ、会場内は活発な討論に包まれました。参加者たちはそれぞれの立場からの質問や意見を交わし、特に日本の経済教育の将来像について多くの議論が飛び交いました。午後5時からは学会誌編集委員会によるセミナー「経済教育への投稿の道」が行われ、学会誌への投稿を希望する研究者たちが参加し、論文執筆や投稿の流れについて学びました。1日目の締めくくりとして、懇親会も開かれ、参加者同士が意見交換をしながら交流を深める場となりました。

2日目は、午前9時からスタートし、企画分科会および一般分科会が並行して開催されました。特に企画分科会「高校の経済教育、社会科・公民科教育の新しい方向性」では、「公共」が公民科必修科目となってからの現状と課題が討議され、参加者たちは今後の経済教育の在り方について真剣に考察しました。また、一般分科会では、授業開発や教材開発、キャリア教育、環境教育、消費教育といった多岐にわたるテーマでの発表が行われ、発表者と参加者との間で多くの意見が交わされました。午後の部では、企画分科会「CORE2024」が開催され、COREプロジェクトを基にした経済教育の新たな展開が議論されました。特に、日本におけるCORE教材の汎用性や教育現場での活用方法について、国内外の事例を基に具体的な提案がなされました。各発表者がCOREの発展やThe Economy 2.0の概要、教育現場での実践例について報告し、これからの経済教育における新たな方向性が示されました。参加者たちは、国際的な視点から学ぶことの重要性と、日本の教育現場での具体的な適用可能性について深く考察しました。

分科会全体を通じて、多岐にわたるテーマが取り上げられ、参加者同士の活発な意見交換が行われました。また、今年もオンライン発表が取り入れられ、遠隔地からの参加者も積極的に議論に参加しました。全体を通して、多様な立場からの視点や意見が融合し、今後の経済教育の発展に向けた有意義な議論が交わされました。

第40回全国大会を通じて、経済教育学会の活動がさらに深まるとともに、参加者同士のネットワークも強化されました。大会運営に携わっていただいたすべての方々、そしてご参加いただいた皆様に心より感謝申し上げます。今後も本学会が経済教育の発展に貢献できるよう、一層の努力を続けてまいります。

第40回経済教育学会全国大会実行委員長 久井田直之



## 2025年春季研究集会ご案内と発表者の募集

実行委員長 川合 宏之（流通科学大学）

日本経済教育学会 2025年春季研究集会を下記のように開催いたします。会員各位の研究の発展と交流の機会となりますよう、ご参加と研究発表のお申し込みの程よろしくお願いいたします。なおプログラムに変更等がある場合は、学会サイトでお知らせしますので、開催日が近づきましたら学会サイトのチェックをお願いいたします。

日時： 2024年3月8日(土) 13:00～17:00（受付 12:30 より）

会場： 流通科学大学 講義棟VI 3F（兵庫県神戸市西区学園西町3丁目1番）

アクセス：<https://www.umds.ac.jp/about/campus/access/>

学内にローソンがあります。最寄り駅（学園都市駅）周辺にいくつか飲食店もあります。

### 《プログラム予定》（\*時間は前後する可能性があります）

12:00～13:00 理事会（会議室）

13:15 開場・受付開始

13:30～13:35 開会挨拶

13:35～14:00 会長講演 久井田直之（日本経済教育学会会長・日本大学）

14:10～16:40 研究発表（発表 20分、質疑 10分）

16:40～16:50 事務局連絡、全国大会案内、閉会挨拶

18:00～ 懇親会（神戸三宮駅周辺）

### 《研究発表申し込み》 締切：2025年1月31日（金）

申込方法：以下の必要事項を研究発表申し込みフォームにてお申込みください。

<https://forms.gle/2GJDfdX6kZvWg65t5>

#### ・必要事項

- (1) 発表者名、(2) 所属・職務、(3) 連絡先電話番号、(4) メールアドレス、
- (5) 発表テーマ、(6) 発表のキーワードを3つ程度、(7) 発表要旨（400字程度）。

・共同発表の場合は、代表者の方を最初にご記入ください。

・発表者は共同発表者も含めて会員に限ります。申込者が多い場合は、発表テーマにより実行委員会で選定します。

### 《研究集会・懇親会参加申し込み》 締切：2024年2月28日（金）

申込方法：研究集会・懇親会参加申し込みフォームにてお申込みください。

<https://forms.gle/GkNYA5FoB84gSuKv8>

《連絡先》 流通科学大学 川合宏之 Hiroyuki\_Kawai★red.umds.ac.jp（★を@に変更）



## 第7回学会賞推薦募集

第7回学会賞の推薦を下記の内容で受け付けます。自薦・他薦を問わず、多くの推薦をして下さいますよう、御案内申し上げます。尚、学会賞選考は隔年で実施するため、下記1及び2の「業績」は2023年度～2024年度の2年間（2023年4月1日から2025年3月31日）のものを対象とします。

### 賞の種類と主旨、被推薦対象者

1. 日本経済教育学会賞（研究部門）…経済教育研究において顕著な業績を残した研究者
2. 日本経済教育学会賞（教育実践部門）…経済教育実践において顕著な業績を残した教員
3. 日本経済教育学会奨励賞…経済教育の発展に寄与することが大きく期待される若手会員
4. 日本経済教育学会特別賞…会員外で経済教育の発展への貢献が著しいと認められる個人
5. 日本経済教育学会功労賞…学会活動の発展において貢献が著しいと認められる個人

上記の各賞の被推薦対象者の資格を満たさない場合には推薦を受理しません。

### 被推薦対象者

3は2025年4月1日現在で41歳未満の会員。また、5は会員、4は非会員に限定し、1、2、5は会員歴が5年以上の者を対象とします。

### 推薦資格者

会員歴が1年以上の者。一人の会員が推薦できるのは、1つの賞に関し自薦も含め1件までとする。また、一人の会員が同一の候補者を複数の賞の候補者として推薦はできないものとする。

表彰内容： 賞状、楯

### 推薦受付期間

このニューズレター発行日から2025年3月31日（水）（必着）まで。

推薦受付先：日本経済教育学会事務局

郵送またはメール添付で専用の様式で御提出下さい。

・郵送の場合の宛先

〒790-8578 愛媛県松山市文京町4番地2 松山大学 井草研究室 日本経済教育学会事務局

・メール添付の場合のアドレス [jimukyoku☆ecoedu.jp](mailto:jimukyoku☆ecoedu.jp) 上記の☆を半角のアットマーク@に変更願います。



+++++

## ◆ 経済教育学会 理事会 ◆

日時：2024年9月28日（土）

11時00分～12時40分

場所：日本大学経済学部7号館 7063教室

出席者 16名 委任状 5通

井草剛、市野泰和、大坂洋、奥田修一郎、久井田直之、越田年彦、炭谷英一、高橋勝也、徳丸夏歌、土居拓務、中里弘徳、中畠剛、松尾匡（zoom）、水野勝之（zoom）、宮下春樹、八木紀一郎

オブザーバー参加（新理事）3名：佐藤大樹、本田知之、渡辺伸子）

議長 徳丸夏歌 書記 高橋勝也

### 報告事項

1. 韓国経済教育学会全国大会（@釜山教育大学）について  
8月に開催された韓国経済教育学会全国大会へ水野勝之会員と久井田会員が学生を引率しての参加があったので報告があった。学生をプラットフォームにする交流がこれまで以上に深化を生み出したので、今後も継続して行うことが望まれるとのことであった。
2. 第40回全国大会について  
久井田実行委員長から挨拶があった。大きな変更なく実施されるとのことであった。
3. その他  
特になし。

### 議事事項

1. 学会の名称変更について  
(1) 徳丸会長の発議により、海外などの学会では学会名の冒頭に国家名を置いていることが多いなどの説明がなされ、これらの事例にならない本学会においても冒頭に「日本」をつけて日本経済教育学会へ名称変更してはどうかとの提案がなされ、承認された。  
(2) 英語名はこれまで同様、The Japanese Society for Economic Education とすることも確認された。
2. 名誉会員推挙について  
徳丸会長の発議により、長年本学会発展や日韓交流に尽力された金景模氏を名誉会員に推挙したいという提案があった。中里会員から

選出方法や手続きについて整理する必要があるという指摘が出され、名誉会員について規程を設けることになった。また、総会での説明と決議も必要はないのかという指摘もあったため、同日開催の総会において扱うこととなった。贈呈に関しては、順番が前後するものの、金景模氏が韓国へ帰国してしまうため、本日、名誉会員の称号を贈ること確認した。なお、炭谷会員、八木会員、大坂会員から名誉会員の定義についての質問や捉え方について発言があった。

3. 学会賞規程について  
大坂会員の発議により、現行では学会賞における特に功労賞の選出事例がほとんどないという課題が示された。功労賞の選出が容易になるよう、理事会も推薦者になることができるという第5条を改正するという提案がなされ、了承された。
4. 総会資料と審議内容の確認について  
宮下会員から総会資料をもって説明がなされ、承認された。
5. 会計監査について  
宮下会員から総会資料をもって説明がなされ、承認された。
6. 2025年度全国大会について  
徳丸会長からの発議で、水野英雄会員の所属校である椛山女学園大学での開催が提案され、承認された。日程は決まり次第メールマガジン等で伝達されることになっている。
7. 2025年3月開催予定の春季研究大会  
徳丸会長からの発議で、川合会員の所属校である流通科学大学での開催が提案され、承認された。日程は決まり次第メールマガジン等で伝達されることになった。
8. 学会賞選考委員会の委員について  
土居会員から学会賞選考委員の選出について依頼があり、旧理事会（前委員）から新里泰孝理事、松尾匡理事、八木紀一郎理事を選出して、承認された。また別に、新理事会からも3名を選出して合計6名にすることとなった。
9. 補充理事  
徳丸会長からの発議で、来年度の全国大会実行委員長の水野英雄会員、今年度の春季研究

大会実行委員長の川合宏之会員を補充理事にしたいとの提案があり、了承された。また、昨年度から補充理事を委嘱している市野会員・奥田会員にも継続して補充理事にしたいとの提案があり、了承された。

#### 10. 次期会長

徳丸会長からの発議で、慣例に従い久井田全国大会実行委員長に会長就任への打診があり、ご本人の了承が得られたため、大会二日目の明日から久井田会長の就任が了承された。空白となる事務局長は、土居会員が事務局長代理として就任することが了承された。

#### 11. その他

- ・炭谷会員から倫理委員会の設置・継続の要望があった。
- ・井草会員から学会賞の規定について非会員を伴う共著の実績について問い合わせがあった。
- ・大坂会員からホームページのサーバーの不具合について説明があった。

+++++

### ◆ 日本経済教育学会 総会 ◆

日時：2024年9月28日（土）

13時10分～14時00分

場所：日本大学経済学部7号館2階講堂

議長 徳丸夏歌 書記 土居拓務

#### 審議事項

##### 1 2024年度会務報告

宮下理事から2024年度会務報告がなされ、承認された。

##### 2 2023年度決算

同じく宮下理事から2023年度決算報告がなされ、承認された。

##### 3 2023年度会計監査報告

同じく宮下理事から2023年度会計監査報告がなされ、承認された。

#### 4 2024年度予算

同じく宮下理事から2024年度予算の報告がなされ、承認された。2024年度予算は過去6年間の支出内容を精査して決定。これまでとは支出配分の傾向が変わってきたことの報告も併せてなされた。

#### 5 2024年理事選挙結果の報告

徳丸理事から報告があり、20名の選挙理事、4名の補充理事が承認され、意義なく新理事会が発足した。

#### 6 学会の名称の変更について

徳丸理事から学会の名称を「経済教育学会」から「日本経済教育学会」へと変更する提案とその背景が説明され、承認された。なお、詳細な手続き等は今後進めていく旨についても併せて報告した。

#### 7 学会賞規定の改正について

現在、学会賞（功労賞）の受賞者が少ないため、現行規定を改正し、推薦者を会員に限定せず、理事会も推薦者になれるよう徳丸理事から提案がなされた。会場では過去の受賞者についての概要、理事会が推薦者となることによる透明性の有無が議論された。結果、功労賞は学会への貢献であり、理事会による推薦が適しているとなり、承認された。他の学会賞の推薦については引き続き審議することになった。

#### 8 名誉会員について

会員外の者で学会に大きく寄与した者を名誉会員とするという規定を設けられないかと徳丸理事から提案がされ、承認された。また、併せて韓国経済教育学会の金景模氏を名誉会員として表彰することを報告。

#### 報告事項

##### 1 会員の異動

宮下理事から会員の異動状況について報告がなされ、併せて学会納入が依頼された。

## 2 2025 年春季研究集会について

徳丸理事から流通科学大学にて開催する旨の報告がなされた。

## 3 2025 年度全国大会について

徳丸理事から椋山女学園大学で開催される旨の報告がなされ、実行委員長である水野英雄先生から「経済教育の発展につながる全国大会にしたいので、是非多くの会員に参加・発表してもらいたい」との挨拶があった。日程は後ほど決定して連絡がある旨の報告がなされた。

## 4 その他

徳丸理事（会長）から退任の挨拶と久井田理事（新会長）への引継ぎがなされ、久井田理事から「世界とつながった学会を目指したい」との挨拶がなされた。

+++++

## ◆ 日本経済教育学会 理事会 ◆

日時：2024 年 9 月 29 日（日）  
12 時 00 分～13 時 00 分

場所：日本大学経済学部 7 号館 7055 教室

出席者 21 名 委任状 3 通

赤石 秀之、飯嶋 香織、井草 剛、市野 泰和、奥田 修一郎、金子 幹夫、川合 宏之、岸 香おり、久井田 直之、越田 年彦、佐藤 大樹、高橋 勝也、土居 拓務、徳丸 夏歌、中嶋 剛、新里 泰孝、本田 知之、松尾 匡、水野 英雄、宮下 春樹、渡辺 伸子

議長 久井田直之 書記 佐藤大樹

### 報告事項

1. 理事の顔合わせ  
各理事から自己紹介があった。
2. その他  
特になし。

### 審議事項

1. 事務局業務の分業化と新事務局体制について  
久井田直之の会員が事務局長を辞任した上で、

会長に就任するとの提案があり、承認された。

事務局業務については、特定の理事に業務が集中していたので、分業化する必要があるという指摘が出された。今後は分業化を検討することとしメールで継続審議することになった。

ただし、ニューズレター担当については早期に選任する必要があるという指摘が出された。これに関連して、事務軽減の観点から、紙での発行を廃止して、PDF のみでの発行としてはどうかの意見が出された。賛同意見があった一方で、紙での発行を求める会員もいることを踏まえて希望者には紙での発行を継続すべきとの意見があった。これらの意見を踏まえ、1 年間紙での発行を廃止することを積極的に広報した上で、1 年後に紙での発行を廃止する方向で検討することとなった。ニューズレター担当はメールにて継続審議し、早期に決めることとなった。

## 2. 学会賞選考委員について

八木紀一郎会員、松尾匡会員、新里泰孝会員を引き続き選出するとともに、新たに岸香おり会員、市野泰和会員を選出して、了承された。

## 3. 学会誌編集委員について

高橋桂子会員、田中淳会員、中里弘穂会員、中嶋剛会員、金子幹夫会員、越田年彦会員、奥田修一郎会員を選出して、了承された。

## 4. 会計監査について

浅野忠克会員が退任され、新たに大坂洋会会員が選出・就任されることでした承された。

## 5. 2025 年度全国大会について

水野英雄会員、高橋勝也会員を選出して、了承された。

## 6. その他

飯嶋会員より、ワーキングペーパーの執筆要綱について、英文校正をネット上のツール又はネイティブのいずれでもよいこととすること、軽微な修正が必要な場合には修正依頼をメールでできるようにすることを新たに規定したいとの提案がなされた。メールで継続審議することになった。

+++++



<会員の異動>新入会員 2023-4 年度新規入会会員  
(ニューズレター第 40 号以降)

**正会員**

小川 竜明(宝塚医療大学 観光学部)  
川島 美奈子(静岡英和学院大学人間社会学部)  
益永 淳(中央大学経済学部)  
辰巳 佳彦(金沢星稜大学女子短期大学部)  
春山 鉄源(神戸大学)  
井波 祐二(東京都立豊多摩高等学校)  
町田 健一(一般社団法人 MEELD)  
梅林 知輝(東京都立秋留台高等学校)  
久保 良太郎(宮崎県立宮崎商業高等学校)  
久保 俊一郎(東洋大学国際共生社会研究センター)  
小里 千寿(金沢学院短期大学)

**学生会員**

齊藤 芽衣(明治大学)  
杉本 絵吏(法政大学通信教育部)  
成川 颯真(関西大学)  
山本 翔太郎  
宮野 天(明治大学商学部)  
西川 結唯(明治大学)

メルマガ登録のお願い

現在、メルマガの登録状況の確認を進めております。

学会入会時にメールアドレスを HP でご入力いただいておりますが、入会と同時に学会のメルマガに登録されるシステムにはなっておりません。現在、この状況の改善に向けて取り組んでおります。

メールアドレスに届いていらっしゃらない方は、学会運営と情報共有の円滑化のため、メールアドレスの登録をお願いしております。下の QR コードより、携帯メールから登録可能です。

お手数をおかけしますが何卒よろしくお願い申し上げます。



## 会費納入のお願い

2024年度の年会費の納入をなにとぞよろしくお願いいたします。

前年度(2023年度)以前の会費の納入がまだの方には  
複数年分の会費が振込用紙に記載されておりますので、  
ご注意をお願いいたします。

また、特別会員制度により、65歳以上の方は年会費が2,500円となります。  
該当する方は学会事務局へのメール([jimukyoku@ecoedu.jp](mailto:jimukyoku@ecoedu.jp))もしくは、  
事務委託先 株式会社サラトまで御連絡をよろしくお願いいたします。

下記の振込口座での振込みも可能です。

ゆうちょ銀行 口座番号：00920-3-252875

口座名義：経済教育学会

年会費：正会員 5,000円

学生会員（大学院生を含む）2,000円

65歳以上の会員 2,500円

日本経済教育学会は日本学術会議協会学術研究団体です。

詳細は下記HPをご確認ください。

<http://www.scj.go.jp/ja/group/dantai/index.html>

[https://www.scj.go.jp/ja/info/link/link\\_touroku\\_ka.html](https://www.scj.go.jp/ja/info/link/link_touroku_ka.html)

学会費は所属先の校費にてお支払頂ける場合があります。

日本経済教育学会 ニュースレター 第42号

2024年12月12日発行

発行人 日本経済教育学会会長 久井田直之

編集人 井草剛 土居拓務 渡辺伸子

発行所 日本大学経済学部久井田直之研究室

〒101-8360 東京都千代田区三崎町 1-3-2

電子メール (NEW) [jimukyoku@ecoedu.jp](mailto:jimukyoku@ecoedu.jp)

印刷所 株式会社 エムディーエス 03-5829-4960